

保 健 案 内



統合失調症家族教室

病気の回復には、きちんとした治療と家族の支えがとても重要です。家族が病気についての正しい知識を身につけることは本人の回復にも役立ちます。ぜひこの機会に病気について理解し、同じような悩みをもつ仲間たちと交流してみませんか。

日 時	場 所	内 容
12月14日(月) 午後1時30分 ～3時30分	保健センター	○病気の理解と対応 講師・精神保健福祉士 ○情報交換（座談会）
12月21日(月) 午前10時 ～正午	コミュニティ センターみずしろ	○家族会（行南わかさ会） 見学・交流 ○情報交換（座談会）

※2日間を通して受講してください。

対 象 市内に在住する統合失調症の方の家族（続柄不問）

定 員 20人（先着順）

申し込み 11月16日（月）までに保健センター

健康講座「食事と健康」

「食事バランスガイド」をご存じですか。食事バランスガイドとは、何をどれだけ食べたらいいのかが簡単にわかるコマの形のイラストのことです。おいしく食べて、無理なくしっかり健康のコマをまわせるように一緒に学んでみませんか。

期 日	場 所	内 容
11月10日(火)	荒木公民館	・食事バランスガイド
11月11日(水)	星河公民館	・BMI 計算尺を使ったメタボ対策
11月18日(水)	太田公民館	・簡単健康チェック
11月19日(木)	VIVA ぎょうだ	・健康に関するアンケートの実施
12月 8日(火)	埼玉公民館	・ゼリーフライの試食（先着 50 人）
12月 9日(水)	持田公民館	
12月16日(水)	忍・行田公民館	

時 間 午後1時30分～3時

申し込み 必要ありません。直接会場にお越しください。

くらしの110番情報

CFDで資産運用～ハイリスク・ハイリターンの金融商品～

【事例】

自宅に電話がかかってきて、CFDという金融商品の勧誘を受けた。一応、リスクの説明も受けたが、投資額の1割くらいもうかればいいと思って購入した。最初に200万円、その後、追加金として約300万円を支払ったが、もうお金が無く、値動きが激しく恐いので解約したい。

消費生活相談窓口には、金融商品に関する相談も寄せられています。特に最近では「少ない資金で多額の取引ができる」ことを強調し、「損する危険が少なく、いい投資がある」と勧誘する例が多く見られます。

事例の「最初に200万円」というのは業者に預ける保証金（証拠金ともいわれる）で、この保証金の数十倍の金額で取引できることがCFDの特徴の一つになっています。当然利益が出る時も、損失が出る時もその金額は大きくなります。損失額が元本を上回りそうになった時などに、事例のように業者から保証金の追加を求められます。

なお、預ける保証金の額は業者によって異なりますが、いずれもその元本保証はありません。

【CFDとは】

CFDは、CFD業者が銘柄ごとに決めた価格で購入（または売却）することによって、その業者と契約を結び、その後の価格の値上がりや値下がりによって発生した差額を決済する取引です。値動きそのものを取引の対象としていますので、非常に投機性が高くなっています。

CFDでは、世界各国の株式や債券、と

もろこしや原油など、それぞれの取引価格を指標とした銘柄が取り扱われています。しかし、実際に証券取引所や商品取引所での取引を行うものではありませんので、購入者が株や原油などの現物を所有しません。

【アドバース】

CFDのようなハイリスク・ハイリターンの金融商品は、株の現物取引などと比べると仕組みが複雑ですから、市場の動向などに関して、より高度な知識が必要です。その金融商品が何を運用対象にしているのかよくわからないようであれば、その商品のリスク（危険性）を正しく理解していないといえるでしょう。金融商品を利用した資産運用は、業者に「預金」するわけではなく、あくまでも自分の判断と責任で行うものです。

○内容がよくわからない時は、その場では契約しない、書類などを渡さない、お金を預けない。

○取引を行う意思がないときは、はっきり、きっぱり断る。

○追加保証金（証拠金）を出資しても、好転するどころか、さらに損失が増える可能性も否定できません。ひとりで決めずに誰かに相談しましょう。

このような「現実の商品引渡しのない取引」の契約は、クーリング・オフができる場合がありますので、契約をした後でもお早めにお近くの消費生活相談窓口にご相談ください。

▼問い合わせ

埼玉県消費生活支援センター春日部 ☎048-734-0999 または生活課（内線2522）